

<b>Title</b>	第2回「東日本大震災国際神学シンポジウム」プログラム
<b>Author(s)</b>	聖学院大学総合研究所
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所紀要, No.56, 2013.10 : 51-52
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4945">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4945</a>
<b>Rights</b>	

SERVE

聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

第2回「東日本大震災国際神学シンポジウム」プログラム  
いかにしてもう一度立ち上がるか——これからの100年を見据えて  
「苦難に寄り添い前に向かう教会」

総合司会：倉沢正則（東京基督教大学学長）

- 10:00-10:15 開会、祈り 阿久戸光晴（聖学院大学学長・理事長）  
賛美 アメージング・グレース 奏楽：上村久美子（OCC）
- 10:15-11:00 主題講演『『神の忍耐の時』の中で、苦難の救い主に仕える』  
リチャード・J・マオ（フラー神学大学院学長）
- 11:10-12:45 パネルディスカッション  
コーディネータ 藤原淳賀（聖学院大学総合研究所教授）  
「キリスト教大学の行うボランティアとは何か——直面する二つの問い」  
伊藤 悟（青山学院大学教授）  
「震災ボランティア活動と若者の宗教心の発達」  
岡村直樹（東京基督教大学教授）  
「カトリック教会の立場から」  
幸田和生（カトリック東京教区補佐司教, カリタスジャパン担当司教）  
「心理臨床家として考えさせられていること」  
藤掛 明（聖学院大学准教授）  
「発表を受けて」  
リチャード・J・マオ
- 12:45-14:00 昼食
- 14:00-15:45 分科会  
分科会 I 14:00-14:45  
A「東北のハリストス正教会」  
山口陽一（東京基督教大学大学院教授）  
B「ポスト・フクシマの被災地における教会と社会」  
——被災地から、リチャード・J・マオ教授の主題講演への応答」  
川上直哉（東北ヘルプ事務局長）

C 「原発とキリスト者1——福島放射能汚染の現状と課題」

木田恵嗣（福島県キリスト教連絡会会長）

D 「大震災と心のケア——喪失と怒りへのケア」

窪寺俊之（聖学院大学教授）

E 「震災における教派・教会を越えた出会い」

吉田久仁子（いわき・清風幼稚園園長）

松本 周（聖学院大学総合研究所助教）

分科会Ⅱ 14:55-15:40

F 「3.11から学ぶキリスト者の災害対応」

ジョナサン・ウィルソン（クラッシュ・ジャパン代表）

G 「被災地の子ども支援——子どもの心のゆくえ 「よかった」の回復」

米内宏明（Sola代表／日本バプテスト教会連合理事長）

平田美保（Sola現地ディレクター）

H 「原発とキリスト者2——脱核の倫理の探求——日独戦後史をめぐる一断想」

福島 揚（青山学院大学講師）

I 「『弔い』と震災後の展開について——内陸部地震被災地域の牧師として」

井形英絵（日本バプテスト連盟南光台キリスト教会牧師，東北ヘルプ理事）

J 「国民統合，自衛隊と教会」

安藤能成（日本同盟基督教団理事長）

K 「青年と震災」

小川 真（キリスト者学生会関東地区主事）

野田 沢（日本基督教団学生キリスト教友愛会主事，日本基督教団震災担当幹事補佐）

15:50-16:10 全体会「教派教団を越えた働きについて」川上直哉

16:15-16:55 礼拝

司 式 東野尚志（日本基督教団聖学院教会牧師）

讃美歌 136番

聖 書 イザヤ64:1-4

説 教 「嘆きの心に賛美の衣をまとして」

讃美歌 312番

祝 祷

16:55-17:00 挨拶：榊原 寛（DRCnet副会長）